

2008年2月25日

VOL. 15

# とっとり・グローバルウォッチ

とっとり貿易支援センター情報誌

## 現地発！台湾月刊レポート⑧

### 台湾正月と台湾商圈 第3回～注目市場編～

台湾は、まさに今が正月。台湾と日本の暦の感覚は、微妙にずれている。台湾市場を攻略するためには、暦を読み解くことも大事である。さて台湾注目商圈であるが、伸びが著しい場所があった。しかしその商圈には、従来手法では、アクセスできない。どうすべきか。このあたりを読み解いた。

#### ■台湾（中華圏）の正月、春節

今回も、あけましておめでとうございませう。なぜなら、台湾(中華圏)は、二月七日が正月。残念ながら現代日本人は、カレンダーから季節を読み取れなくなった。皆様は、正月(一月一日)の年賀状に「初春」とか「迎春」と書いたことがないだろうか。しかしその後、ますます寒くなり春が遠くなった、という矛盾を感じたことがないだろうか。これは、旧暦から見ると当たり前である。日本で太陽暦の一月一日に正月が固定されたのは、つい最近、実は明治六年からだ。アジア圏において日本は、特殊な正月を持つ国となったのだ。私も台湾にかかわり日本で言う旧暦、台湾で言う農曆で生活をするようになり、季節を暦と体で感じることができるようになった。ちなみに台湾の正月を「春節」という。台北101ビルもこのようなライティングに。しかし、これは何？



ヒントは、101ビルを逆さにするとわかる。これは、「春」がひっくり返っているから、「春倒」と言う。春が到着するつまり、春が来るということをあらわすのだ。同様に「倒福」などというのも、福が到着する、という同様の意味である。中華料理屋の店先など

をご覧になってほしい。このようなおめでたい文字が貼ってあるはずだ。わざと逆さまに。

#### ■暦を把握し、モノを売る

さて、暦がわかると何が便利か。まず冬物商品、春物商品をどう扱えばよいか、という大局的なことがわかる。例えば、去年は、春が遅いと感じたのではないか。それもそのはず。正月は、二月十八日という遅さだったのだ。そして正月は、毎年移動するのだ。

2004/01/22、2005/02/09、2006/01/29、2007/02/18、2008/02/07、2009/01/26

これを見ると、2007年は、だいぶ遅かったことがわかる。今年もやや遅い春になりそうである。来年は、春が思いのほか早く来そう。台湾で商売をする場合に、農曆を知らずして商売はできない。ほとんどの台湾の商売イベントは、農曆で動くからだ。大きなイベントは、春節、端午節、鬼月、中秋節など。こういう暦に従い商品が大きく動く。

#### ■バレンタインデーと母の日がポイント

ちなみに日本で二月の大イベントは、バレンタインデーであろう。女性が男性にチョコレートを送る。今年は、女性から女性も増えているらしい。ところが台湾では、なんと男性が女性にチョコレートに限らず贈り物をする日なのだ。さらにバレンタインデーが年二回あるのだ。二回目は日本で言う七夕。これも男性が女性に贈り物を送る。女性が羨ましい。

このように最近の台湾は、旧暦と西暦イベントが混ざってきているのも事実。では、ケーキが一番売れるのは、いつだろうか。クリスマスだろうか？答えは、NO。なんと母の日なのである。台湾市場でモノを売るには、暦を抑えること、そして現地事情を知ることが大事だと思いますか？

ちなみに一月末に高雄で物産展があつ

<次ページへ続く>

### 目次

現地発！台湾月刊レポート⑧	P 1 P 2
海外とれたてレポート～韓国～	P 3
ドバイで鳥取県産農林水産物をPR	P 4 P 5
台湾で開催される見本市について	P 5
ジェトロ鳥取からお知らせ	P 6
編集後記	P 6

### 世界の祝日～3月～

■香港	21日	聖金曜日
	22日	聖金曜日翌日
	24日	復活祭月曜日
■韓国	1日	独立運動記念日
■インドネシア	7日	サカ暦新年
	20日	モハメッド聖誕祭
	21日	聖金曜日
■マレーシア	20日	モハメッド生誕祭
■シンガポール	21日	聖金曜日
■フィリピン	20日	聖木曜日
	21日	聖金曜日

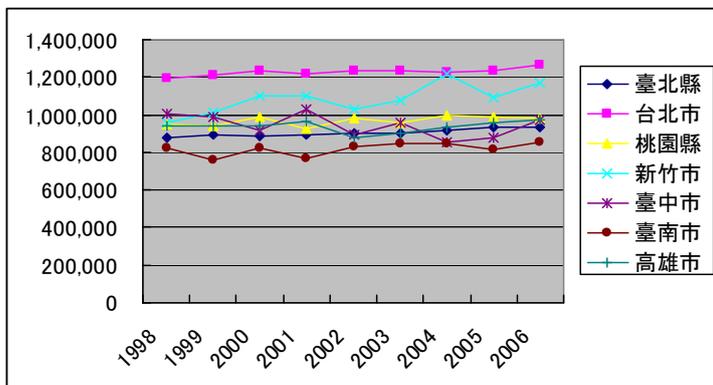
出所：ジェトロ通商弘報  
「世界の祝祭日2008年版」から

た。金色の海胆が山盛り。そしてめでたい赤のイクラに黒い容器に盛ったご飯。実演豪華弁当販売だ。これは500元を超えていたのだが、ポンポンと面白いように売れた。高雄は、やはり金色、赤色、豪華そして人だった。前月レポートにも書いたとおり実証できた。

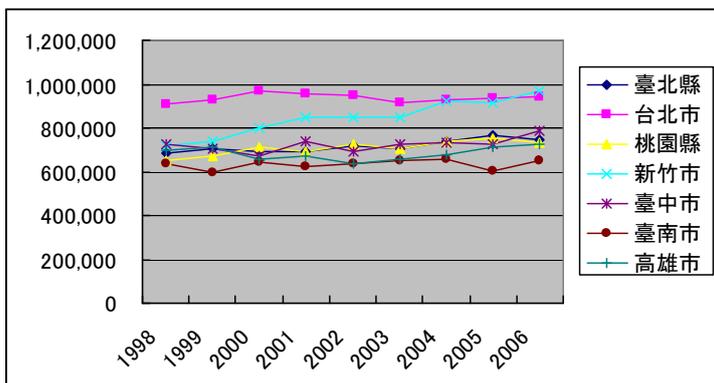
さて、今年の台北の冬は、例年にも増して寒く、毎日、毎日、雨が降り、湿気ていてジーンと足元から来る寒さだ。暖房が少ない台北では、心まで寒くなり気が滅入る。こう寒いと人も動かない。百貨店関係者に聞くと、正月商戦は、出だしが例年に比べ一週間遅く、たった一週間で終わったと言っていた。動きが鈍かったと言う。サブプライムローン問題は、台湾にも波及しており、実感として景気が冷えている。また中国大陸も大雪で、台湾人の経営している工場も停電が続き、危惧感があるそうだ。

では、最終回となる台湾商圏について述べたい。次のグラフをご覧ください。

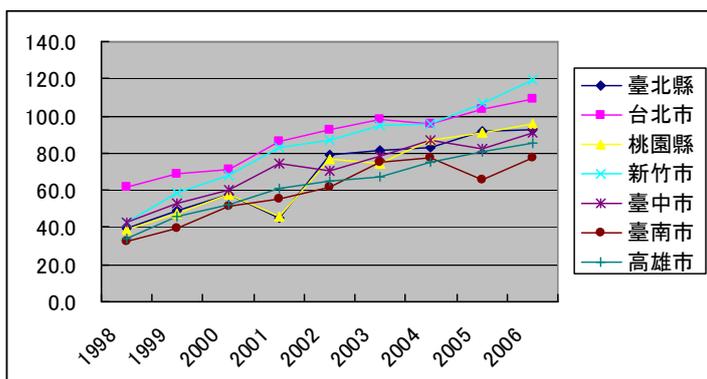
◆「各家庭別可処分所得」 単位は、台湾元/年



◆「各家庭別平均消費額」 単位は、台湾元/年



◆「百戸あたりパソコン所有率」



一目瞭然。注目市場は「新竹市」。この結果に私もびっくりした。

ところで私は、台湾の台北東海ロータリークラブに参加している。台湾流通の父といわれる人が創始者。人のつながりがとても大事な中華圏。よって私も会員になった。余談だが、ここは年齢、所属に関係なくとても暖かく、まさにファミリー。こういう温かみは、現在の日本社会から消えさったな、とつくづく思う。また、事業に成功している人たちの情報もありがたい。このポジションにいと極端に「M型」が、進んできたことを実感する。持つものと持たぬもの。格差社会だ。①中国大陸進出組、②半導体、電子関係者、③親が成功者。これが会員の特徴。そして皆さん気前良く気持ちよく消費する。これも市場調査対象として、ケチな日本人の私から見ると面白い。

## ■インターネットショッピングが流行？

前ふりが長くなったが、何を隠そう「新竹市」は、①と②のキーワードにとっても関連している場所である。しかし、新竹市から最近、日本JUSCOが撤退した。では、どうやってアクセスするのか。実は、不景気で寒い年末にもホットな市場があったのだ。それは、インターネットショッピングである。タイムリーなことに、日本のテレビで今年降雪が多い関東では、宅配関連ビジネスが盛り上がり上がっていると放映していた。これとまったく同じこと。台湾の冬は「寒い」、そして夏は「暑い(暑いを通り越す)」のだ。そりゃ外出したくなくなる。今年は、ネットショップにて台湾有名店の高額「御節」が、完売、完売状態だったと言う。さて、もう一度グラフをご覧ください。新竹には、「各家庭別可処分所得」「各家庭別平均消費額」「百戸あたりパソコン所有率」、全てがそろっていることがお分かりいただけるだろう。宅配利用であれば、テレビショッピングも同じ効果が期待できるだろう。

もしご希望があれば、連絡を頂きたい。ご紹介したい。

鳥取県台湾コーディネーター富田恭敏氏については、07年7月17日発行の本誌第8号(2ページ目)をご覧ください。

鳥取県産業振興機構海外支援部を窓口、県内企業の皆様からの簡単なお問合せに対応いたします。

また、商談斡旋依頼や実務的な情報提供などの具体的な案件についても、当財団取次ぎの上、個別に当該相談依頼者と契約できます。

【お問合せ】  
海外支援部(担当:早川、中江)  
電話:0857-52-6735  
FAX:0857-52-6782  
E-mail:kaigai@toriton.or.jp

## 海外とれたてレポート ～韓国～

### やっぱり、鳥取に一番近い国

#### ■韓国の政治が熱い

2008年2月25日に、韓国の新しい大統領が就任します。日本でも多くの報道がなされていると思いますが、昨年12月に行われた大統領選挙において、李明博候補はダブルスコアの大差で圧勝しました。その後、政権引継ぎ委員会が作られ、就任の日に向けて急ピッチで準備が進められています。そのような忙しい中でも、李明博次期大統領はいろいろな場に出向き、特に韓国への投資誘致については積極的にPRしています。1月15日には「新たなる成長とパートナーシップによる経済政策」と題したレセプションが、ソウル日本人会とヨーロッパ・アメリカの商工会議所の共催で開催されましたので、出席してきました。写真はその時に私が撮った李明博次期大統領の様子です。



この中で次期大統領は今後の目標として、10年間で韓国のGDPを2倍に増加させることと韓国をG7に仲間入りさせることを挙げていました。普通に考えるとちよつと無理な目標ですが、これが新大統領のやり方であり、無理だと思ふような目標に向かってブルドーザーのように突進していく個性に韓国の国民は期待しています。新政権の新たな政策として中央省庁の大幅な合併縮小や英語教育改革、ソウル～プサン間の大運河構想などが論議され韓国の世論は賛否両論で大騒ぎですが、どのような結果になるにせよ、今後の韓国情勢は目が離せません。

#### ■やっぱり、鳥取に一番近い国は韓国

中国の目を見張る経済成長により、鳥取県内の企業の関心はもっぱらそちらへ向いているようですが、鳥取県の地理的優位性を発揮できる地域はやはり韓国です。なにせ日本海を囲んでいる対岸地域は韓国・北朝鮮・ロシアですし、韓国東海岸との距離が近いという有利性は抜きん出ています。

鳥取でも既に報道されていますが、DBSクルーズという韓国の会社が早ければ今年夏から境港と韓国の東海（トンヘ）港、ロシアのウラジオストック港の三点を結ぶフェリー航路の開設を計画しています。直接DBSクルーズの方とお話をしましたが、航路計画の策定に当

たっては、やはり新潟港なども検討したとのこと。東海～境港であれば夕方6時に出港して翌朝10時に着くスケジュールで所要時間15時間の夜行フェリーが運航できるのですが、東海～新潟であれば24時間近くかかってしまい、人を運ぶフェリーとしては不適なのだそうです。

#### ■韓国は魅力的な市場

ご存知のように、韓国は中国に比べて人件費が非常に高いため、工場の移転先には適しません。しかし、商品の販売先としては非常に魅力的な地域に変貌しました。私は約10年前の1998年から2000年にかけてもソウルで勤務していましたが、為替変動と韓国の継続的な物価上昇により、その当時と比べて体感で物価が2倍以上になったように感じています。これからは身近な市場として韓国を見て、海外展開先の候補として注視する必要があります。

境港から直接航路ができれば、さらに展開が容易になります。岡山や広島などから集められた中古車などは、もちろんロシア向けに大量に搬出されることになると思いますが、その中に県産品がなるべく多く積みこまれることを願っています。

ロシアは、近年のエネルギー価格の上昇により急速に購買力を上昇させていますし、その中で島根の石州瓦は近年、ロシアでの販売を伸ばしていると聞きます。中国や台湾だけでなく韓国やその先のロシアまでの市場展開を真剣に考えなければならない時期に来ているのではないのでしょうか。

話は戻りますが、DBSクルーズのDは親会社である大亜高速の英語表記の頭文字。Bはウラジオストックの英語表記の頭文字。Sは境港の頭文字だそうです。境港に対する並々ならぬ意気込みを感じます。

#### 韓国の基礎データ

名前：大韓民国  
面積：99,646平方キロメートル  
人口：48,300千人（2006年央推定）  
首都：ソウル  
言語：韓国語



高層マンションが立ち並ぶソウルの町並み（2007年）

## ドバイで鳥取県産農林水産物をPR

最近の原油高の影響を受けて、中東地域の経済活動が活発になっている。その中で特に注目されているのがアラブ首長国連邦（UAE）・ドバイである。平成20年1月28日～30日、鳥取県産食品のニーズや輸出可能性調査のためドバイを訪問した。



ドバイは高層ビルの建設ラッシュ

### ■ポスト・オイル時代に備えて

ドバイはUAE内の他の首長国と比べて石油埋蔵量は少なく、UAE独立当初からポスト・オイル時代に備えての産業育成に力を注いできた。法人税が50年間無税である自由貿易地区「ジェベル・アリ・フリーゾーン」への外資企業の誘致、総合金融のオフショア・センターを目指す「ドバイ国際金融センター」の設立、美しい海岸線に立地する高級ホテル・マンションなどの建設や高級ブランドショッピングモールの開発などにより外国人観光客の誘客など、国家戦略として推進してきた。このように、中継貿易、金融、観光に特化して、ヒト、カネ、モノが集まる仕組みを作り上げた結果、欧米を離れ始めたオイルマネーの行き先として、中東周辺国からの投資資金が流入する事態となっている。

### ■食品輸入大国、しかし流通上の課題は多い

国土のほとんどが砂地であるドバイは、農産物の生産基盤が乏しく、農産物を含め食料品の大部分を輸入に頼っている。さらに欧米型の食習慣が定着しているため、健康志向からヘルシーな日本食に対する認知度が高まりつつあるなど、日本食材の輸出可能性も出てきた。2月24日からドバイで開催される国際食品見本市「ガルフード2008」にも多くの日本企業が出展するなど、日本での関心も高まっている。

一方、課題が多いことも事実である。①日本製品といえば車、電気製品のイメージで、食材の味、品質などはまだ認知されていないこと、②輸送に時間やコストが掛かること、③夏は40℃以上という気候条件により、温度変化が激しいこと、④イスラム圏であるため、肉類に関するイスラムの戒律に従った処理の認証である「ハラール証明」を取得しなければならないこと、⑤消費期限などUAEならではの表示規制があるこ

となど、流通上の課題によりコストアップの要因が生じている。

### ■常設店舗で日本産農産物のPR・販売が始まる

昨年の9月から農林水産省は、日本の農産物・食品の浸透を図るため、ドバイで展開する英国系高級スーパー「スピニーズ」2店舗において常設店舗を設置し、日本産農産物の販売を開始した。常設店舗では、梨（栃木）、柿（奈良）、有機ミカン（和歌山）、りんご（青森、秋田）、キノコ（長野、新潟、静岡）、サトイモ（宮崎）、ごぼう（宮崎）といった生鮮果物・



農林水産省常設店舗の販売コーナー

野菜が日本の小売価格の4～5倍で販売されている。

なお、常設店舗運営受託企業の担当者にお話を伺ったところ、この価格設定は、輸送経費などのコストを積み上げた結果であり、現地で買ってもらえるぎりぎりの価格設定となっているため、利益はほとんど出ないとのことであった。スピニーズなど大手スーパーで取り扱われている野菜・果物は世界中から輸入されているのが現状であり、品揃えは日本と同等以上である。また、中国産など日本産と比べ価格の安い果物も流通しており、現在のところ品質の高さから、高価格でありながら一部の富裕層で受け入れられている日本の農産物であるが、継続的な輸出については、価格競争力や更なる差別化など、取り組むべき課題も多い。

※常設店販売品種・産地は、平成19年度農林水産物等海外販路創出・拡大委託事業常設店舗活用型輸出対策UAE（ドバイ）事業実施報告書2007年12月期を参考とした。



地元の果物市場では様々な国の果物が売られている

<次ページへ続く>

## ■鳥取の農林水産物はドバイで高い評価を得た

鳥取県産農林水産物のPR及び評価調査のため、在ドバイ日本国総領事館の協力の下、1月28日総領事公邸にて鳥取県産農林水産物試食会を実施した。現地高級ホテル（5つ星クラス）の食材仕入れ担当及び貿易商社等35名を招聘し、県産の梨、水産物、日本酒、加工食品等の試食を行なった。試食された食材は、いずれも好評で、特に二十世紀梨、日本酒などは評価が高く、ドバイの5つ星ホテル等でも十分受け入れられる品質であることが分かった。



試食会場の様子

## ■今後の取組み

試食会や調査を通じて鳥取県産農林水産物の味・品質はドバイで受け入れられることが分かったが、取り組むべき課題も判明した。現地の関係者からは、まずはターゲットを絞った商品提案と、信頼の置ける現地パートナーを見つけることが大切であるとのアドバイスもいただいた。

外国への輸出の手始めとして相手国の事情を収集・分析することが必要である。まずはドバイ常設店舗への参加や世界中のバイヤーが集まるガルフードへの出展は有効な情報収集の機会であると思われる。

ドバイへの輸出にご関心のある県内事業者からの相談を受け付けております。お気軽にご相談ください。

<鳥取県・市場開拓室>

電話：0857-26-7767

担当：山本

<株式会社さかいみなと貿易センター>

電話：0859-47-3900

担当：柴田

## ドバイ基礎データ

地理：3,885平方km

アラブ首長国連邦（UAE）を構成する7つの首長国の中でアブダビについて2番目に大きい。

人口：140万人（UAE人は約15%で、それ以外の約75%はインド、パキスタン、イラン、アラブ諸国、東南アジア、欧米等の外国人）。在留邦人約2000名。

時差：5時間

交通：関西空港、名古屋空港から直行便（エミレーツ航空）で約12時間

【県商工労働部兼農林水産部市場開拓局 山本】

## 台湾で開催される見本市について

### FOOD TAIPEI 2008 当財団ブース出展企業募集

台湾台北市にて毎年開催される国際食品見本市「FOOD TAIPEI 2008」に、(財)鳥取県産業振興機構は2年連続で出展しました。

当財団では、今年も本展示会に「(財)鳥取県産業振興機構ブース」を出展する計画をしております。但し、**当財団の出展については、鳥取県議会による20年度予算の承認を条件とします。**

#### ■FOOD TAIPEI 2008概要

会期：2008年6月18日(水)～21日(土) 9:00～17:00

会場：台北ワールド・トレード・センター(TWTC)

南港ホール

詳細：<http://www.foodtaipei.com.tw/>

(日本語あり)

※昨年の当財団ブース出展結果についてはこちらから  
<http://toriton.or.jp/toriton-cgi/wnew3/disp.cgi?num=20071002085648&cate=9&bknm=&td=>

#### ■詳細、申し込みはこちら

<http://toriton.or.jp/toriton-cgi/wnew3/disp.cgi?num=20080116140006>

#### ■問合せ先

(財)鳥取県産業振興機構海外支援部（担当：早川）  
TEL：0857-52-6735 FAX：0857-52-6782



昨年の会場の様子

【(財)鳥取県産業振興機構海外支援部 早川】

## ジェットロ鳥取からお知らせ

### 中国ビジネスセミナー ～法務・労務を中心とした進出時の留意点～

多くの県内企業が中国へ進出し、また中国企業と貿易を行っている一方、日中の商習慣や法体系、人事管理に関する考え方の違いから様々なトラブルが生じています。ジェットロ鳥取は、法務・労務に焦点を当てたビジネスセミナーを開催し、わかりやすく留意すべきポイントを解説します。皆様のご参加をお待ちしております。

#### <米子会場>

日時：2008年3月13日（木）9：30～17：00  
場所：米子コンベンションセンター ビッグシップ  
3F第1会議室（米子市末広町294）

#### <鳥取会場>

日時：2008年3月14日（金）9：30～17：00  
場所：鳥取県立図書館 2F小研修室  
（鳥取市尚徳町101）

講師：（財）海外職業訓練協会（OVTA）  
国際アドバイザー 内野 勉 氏

参加費：無料

申込締切：2008年3月7日（金）

詳細はこちら：

<http://www.jetro.go.jp/jetro/offices/japan/tottori/events/20080129380-event>

申込、問合せ先：ジェットロ鳥取（担当：蒲田）  
TEL：0857-52-4335 FAX：0857-52-4336



【ジェットロ鳥取 蒲田】

## 編集後記

不安定な天候が多いこの時期、鳥取・米子ー東京間の飛行機が定刻どおり飛ばないこともあります。出張等の場合、悪天候による遅延や欠航も考慮して日程を調整する必要があります。

欠航となった場合、便の変更や、払戻しの手続きをしますが、例えば北海道のように便数が非常に多いところと欠航が重なってしまうと大変です。手続きをするまで2時間待ち、近隣

のホテルは満室、といった具合です。

私も一度これを経験し、羽田空港で一晩過ごしたことがあります。他にも空港内で一晩過ごす人は大勢おり、皆がベンチや床で、空港職員から支給される毛布にくるまって睡眠をとりました。体力的にも精神的にもつらかったのですが、後に思い返してみると、集団合宿のような気がしないでもなく、面白い経験ができました。【r】

『とっとり・グローバルウォッチ』では、皆様から、内容のご提案や掲載されている情報へのご意見・ご感想をお待ちしております。メールでお気軽にお寄せください。また、受信希望（無料）の方は下記までご連絡ください。

お問い合わせ：（財）鳥取県産業振興機構海外支援部（担当：早川）

E-mail：kaigai@toriton.or.jp TEL：0857-52-6735

<http://toriton.or.jp/toriton-cgi/wnew3/disp.cgi?sub=1&cate=9&ind=1>

### とっとり貿易支援センター 貿易に関する相談はこちらの窓口へ

#### 【東部窓口】

■（財）鳥取県産業振興機構海外支援部  
TEL 0857-52-6738

■ジェットロ鳥取貿易情報センター  
TEL 0857-52-4335

#### 【西部窓口】

■（株）さかいみなと貿易センター  
TEL 0859-47-3900

■境港貿易振興会  
TEL 0859-47-3905

#### 【その他関係機関】

■境港管理組合港湾管理委員会事務局  
TEL 0859-42-3705

■ジェットロ貿易相談デスク  
TEL 0859-45-2203

■鳥取県商工労働部産業開発課  
TEL 0857-26-7243